



神崎小だより

神崎町立神崎小学校
学校だより 第2号
令和8年 5月12日
発行者 校長 塙一成

学校教育目標 : 自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成
校 訓 : <四つの徳>…勤勉・親切・正直・勇氣



創立153周年記念集会

5月1日(金)に創立153周年記念集会を行いました。本校は、明治6年5月5日、永興寺客殿を仮校舎として開校しました。学制発布の翌年のことであり、近隣の学校の中で最も早く開校しています。また、明治43年には、佐佐木信綱氏作詞、岡野貞一氏作曲で校歌が制定されました。佐佐木信綱氏は、優れた歌人、国文学者で、第1回文化勲章を受章しています。岡野貞一氏は、「故郷」や「春の小川」、「春が来た」など、音楽の教科書に載っている唱歌をたくさん作曲しています。校歌の歌詞に「四つの徳」という言葉が出てきますが、これは「勤勉、親切、正直、勇氣」を指し、もともと校訓となっていた「勤勉・懇切・正直」に佐佐木氏が校歌の中に「勇氣」を加え、「四つの徳」としました。なお、「懇切」が「親切」に改められた時期については明確な記録は残っていませんが、昭和39年にはすでに「親切」という表現が用いられていました。「四つの徳」は、「一生懸命に学び、人に親切にし、正直で正しい行いを心がけ、勇氣をもって行動する」という意味で、時代が変わった現在においても大切にしたい価値です。子どもたちには、この校訓をしっかりと心に刻み、将来にわたって行動のよどころとしてほしいと願っています。



いじめゼロ集会

4月20日(月)にいじめゼロ集会を行いました。本校では、いじめは絶対に許さず、いじめられている人を全力で守るという強い意志のもと、教職員一同取り組んでいくことを子どもたちに伝えました。各学級からは「いじめゼロスローガン」の発表がありました。1年生から6年生まで、それぞれの学級で考えた思いのこもったスローガンが発表されました。これからも、いじめのない、笑顔あふれる神崎小学校を目指して取り組んでまいります。



不審者対応避難訓練

5月8日(金)に不審者対応避難訓練を行いました。本年度は、不審者が校内に侵入した際の避難の仕方について、香取警察署生活安全課、神崎駐在所のお二人の警察官からご指導をいただきました。訓練では、不審者(役)の侵入に迅速に対応し、児童も教職員も緊張感をもって真剣に取り組むことができました。今回の訓練を通して、万が一の際に自分の命を守るために、落ち着いて行動することの大切さを改めて学ぶことができました。



コミュニティ・スクールが始まります

今年度から、神崎町3校においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が一斉にスタートします。コミュニティ・スクールは、保護者や地域の皆様が学校運営に参画し、学校と地域が連携・協働しながら子どもたちを育てていく制度です。これまでも各学校には学校評議員会が設置されていましたが、コミュニティ・スクールの導入により、これまで以上に保護者や地域の皆様のご意見を学校運営に反映していくことが期待されています。本年度の学校運営協議会は、校長・教頭を含め6名で構成され、年間3回の会議を予定しています。本校の課題や目標を共有しながら、教育活動の充実につながる有意義な話し合いのできる学校運営協議会にし、地域とともに子どもたちを育てていきたいと考えております。